

取組の概要

取組の概要 : 施設野菜産地の形成促進
 計画作成主体 : 北広島町農業再生協議会
 対象品目 : ミニトマト、ほうれんそう
 (産地面積 : 3.88ha)
 主な取組主体 : 広島北部農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプハウス資材の導入)

ポイント

新規就農者のパイプハウスを整備することにより産地強化を図る。

地区の概要

広島県
北広島町



産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 3.45ha
販売額 : 104,906千円

〈目標:H32年度〉

作付面積 : 4.28ha
販売額 : 135,209千円



推進体制

地域の関係者 (北広島町・広島北部農業協同組合・広島県) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 町の研修制度により新規就農者を育成・確保している。
- パイプハウスの整備による集落法人や既存の担い手の規模拡大。
- JA生産者部会を中心に、技術研鑽等に取り組んでいる。

事業効果

○新規就農を進め、産地面積が拡大することにより、販売額が向上する。

～施設野菜の販売額～

